

第 3 7 回技術研究発表会 梗概 < I 論文>

B.情報・防災

【HP 掲載No. B05】

発表No.	B05
タイトル	集合住宅の共用空間を活用したモビリティハブ導入可能性検討 ～共用部へのシェアサイクル導入と居住者意識分析～
所属・名前	芝浦工業大学 本多 久美子
キーワード	① モビリティハブ ② 集合住宅 ③ シェアサイクル
本研究は、集合住宅の共用部をラストワンマイル交通を担う「モビリティハブ」として活用する可能性を探るため、敷地内へのシェアサイクル導入が居住者の所有自転車の保有削減に与える影響を、東京都内の住民 520 名へのアンケート調査に基づき検証したものである。 主な発見は以下の通りである。 ・駐輪環境が鍵：私有自転車の削減意向は、既存駐輪場への不満（距離が遠い、出し入れしにくい等）が強いほど高まる傾向にある。 ・「一部削減」が現実的：複数台の自転車を持つ世帯は、一部を手放す「部分削減」に前向きである。一方、私有自転車を頻繁に使う層が全ての自転車を手放すには、高い利便性が必要となる。 ・「管理費込み」が最強：導入条件の中では、利用時の金銭的・心理的な負担が少ない「管理費に料金内包」の使い放題プランが、他の条件を大きく引き離して最も強く支持された。 これらの結果は、集合住宅の共用空間がモビリティハブとして機能しうる高い潜在性を持つことを示唆する。	